

CIP Newsletter

ニュージーランド出身香取市国際交流員
花田・卓也・サミュエル (サム)

Happy Easter

イースターを知っている人も知らない人も多いと思いますが、今年はウサギ年ということもあり、海外ではイースターの面白い習慣がたくさんあるので、このニュースレターではニュージーランドのイースターについて紹介したいと思います。

イースターは何のホリデーだろう？

実は、イースターはキリスト教のホリデーです。イエス・キリストが亡くなって、また3日後に復活をしたので、キリスト教の人はその日を祝います。現在、ニュージーランドではイースターが休日となっています。キリスト教の人じゃなくても、皆さんが実家に帰って、クリスマスみたいに家族と過ごすのが普通です。家庭によって違いますが、食事はクリスマスと同じように、私の場合は毎年、ポテト、ハム、ロースラム、いろいろな野菜やサラダを食べました。

イースターインNZ

現在、ニュージーランドは秋です。この時期はまだ天気も良く、BBQをする人も多いです。ニュージーランドは庭や公園が広いので、イースターエッグハントがよく行われます。いろいろなところにチョコレートエッグが隠されていて、子供たちがそれを探しに行くイベントです。卵は生命を象徴しているので、イースターにはチョコレートエッグを食べるのはそのためです。



レントとは？

多くの方は「レント」(四旬節)と呼ばれる儀式に参加します。レントはイースターまでの40日間で、自分の好きなことや物をその期間やめるといったものです。これもキリスト教の儀式ですが、多くの非キリスト教徒も忍耐をつけるために実践しています。子ども達はイースターまで、アイスやチョコをやめ、大人もタバコや酒を一生止めるために、この期間を使う人もいます。自分の家族では、



1つやめて、また1つ始めるという習慣がありました。毎年、お菓子を食べなかったり、毎日10分走ったりと、40日間続けられるように頑張っていました。今年は、特に何も決めていませんが、2月からほとんど毎日、夜8時から30分本を読むとしています。元々本を読むのが好きじゃないけど、頑張ってみたら、もう3冊も読んでしまいました。また、炭酸飲料が大好きですが、健康に良くないので飲む量を減らそうとしています。もうすぐイースターや四旬節が終わりますが、40日間何かを始めたりやめたりして、日常生活にどんな変化があるのか試してみたいか試してみたいか？

イースターホリデー

イースターは、春分と次の満月の後の最初の日曜日に祝われるため、毎年変わります！今年のイースターは4月の7-11日が休みになっていますが、学校の秋休みと被っているので、学生たちは2週間休みです。毎年、イースターが変わるため、イースターの前に学校に行かなきゃいけないこともたまにありました。私はキリスト教の学校に通っていたので、その時、イエス・キリストの物語を聞いて、正座をしながら祈ったり、歌を歌ったりもさせられました。毎回、本当に長くて大変でした。

イースターバニー

また、サンタやトゥースフェアリーみたいにイースターバニーもいます。イースターの前の夜に、寝てる間に部屋に入り、チョコレートを置いてくれます。ニュージーランドは酪農が盛んなので、チョコが美味しくて安いです。私は「Whittakers」(ホイッタカーズ)というブランドのチョコがお気に入りです。ドンキとアマゾンで買えるので、見つけたら是非買ってみてください。

最近何してるの？

2月5日にKIFA（香取市国際交流協会）主催のKIFA国際交流パーティーが行われました。色々な国の人が集まって、皆さんが自分の日本語能力や日本での経験などのスピーチをしました。私も突然にゲストスピーカーとして呼ばれましたが、あまり準備ができていなかったので、とても緊張しました。スピーチの他には、日本の伝統文化に触れる機会もありました。書道、生け花、切り絵などがあり、私自身は花が好きなので、生け花に挑戦してみました。本当に楽しい機会でした。



春がやっと来ました！



冬と夏に日本に旅行に来ることが多かったんですが、今年は初の日本の春です。ニュージーランドでは一年中花粉症なんですけど、日本に来てからだいぶよくなってきたので、両総用水の河津桜、八千代新川千本桜まつりなどを見に行きました。また、小見川城山公園、香取神宮、十間川などのソメイヨシノも見に行きました。天気は悪かったですが、素敵な光景でした。

市長同士の意見交換

また通訳をする機会がありました。今回、姉妹都市のサイパン市長と香取市長の意見交換があり、市長の通訳をしました。農業や観光などについて色々話しました。緊張したので、失敗したり、言葉を噛むことも多かったですが、いい経験になりました。将来の交流や通訳のために、日本語の能力を高め、勉強を頑張りたいと思います。



あおぞら・にほんご

今回のあおぞらのテーマは「タイの日」でした。それでテイさんともう1人のタイ人が美味しい菓子とタイ茶を準備してくれたり、一緒にタイの編み魚を作ったりしました。本当に楽しかったです。4月16日に「ニュージーランドの日」があるので、皆さんも是非来てみてください。

先月の雛舟！



FacebookのLittleEdoSawaraで香取市での生活や観光、ニュージーランドと日本の文化の違いなど多く発信しています。日本語でも文書を書いているので、見ていただけたら嬉しいです。これから他のことも色々挑戦してみたいと思っていますので、英語・企画・手伝いでも何かあれば、是非3階の商工観光課でお声掛けください！



プーパッポンカレー
(カニのカレー炒め)

タイのこと…聞いてみタイ？

タイ出身香取市国際交流員 ティ (ラタナウィモンチャイ チャヤンクン)



2023年
4月号

タイのお正月は4月！水にぬれたくなければ出かけちゃだめ！？

日本の4月といえば、長い冬が終わって、多くの人が春の暖かい風を浴びながら花見をしたり、新しい学校生活や職場生活を始めたりします。私も寒い冬から解放されて、なんだかうきうきした気分です。一方、タイの4月といえば・・・真夏！

タイは赤道に近いため気候は熱帯気候で、4月がちょうど一番暑い時期です。タイの中部にある首都バンコクは最高気温40℃に近い日がずっと続きます。あんな暑い日に出かけると冷たい水に浴びられたら最高だろうなあと思ったことないでしょうか。ぜひ4月の13～15日にタイに行きましょう！その期間に「水かけ祭り」としても知られているタイの旧正月祭り「**ソンクラーン**」が全国で行われます。

大昔、タイでは太陰暦の1月の満月の翌日をお正月としました。その後、バラモン教の影響により、太陽の軌道が新たに白羊宮（ひつじ座）に移動する日、太陰暦5月1日をお正月（今でいうと4月中旬辺り）にし、その日を「**ソンクラーン**」と名付けました。（ソンクラーンはサンスクリット語で「移る」という意味。）

外交や近代化のため、ラマ5世王様によりグレゴリオ暦が導入されると、冬の終わりの翌月の始まり・4月1日をお正月にしました。

最後に、政府が多くの国と統一すべきと提案し、1941年にお正月を1月1日に変更して現在に至ります。



実家にある仏像。きれいにした後、丁寧に水を掛けます
水にはジャスミンやバラなど香りのいい花を入れます



(左) 路線バスに乗っても外から水掛けられます(窓はありません・・・)
(右) トゥクトゥクに乗りながら水合戦！

お正月が1月1日に変更されても4月中旬を旧正月としてソンクラーンの行事を行う人々はまだ多く、水を掛ける風習がいつの間にか街で通行人同士が水を掛け合って楽しむ「水かけ祭り」になりました。街中に行けば、家や店の前に水を入れた大きなみずがめを見かけるはず。そこから桶や水鉄砲を使って通行人と水を掛け合います。注意してほしいのは水に濡れたくなければソンクラーン期間中に出かけない方がいいです。掛けないでー！と言っても通用しません。

毎年4月の13～15日の間をソンクラーン期間とし、国民の休日になっています。多くの方は休みをさらに取って帰省したり、海外旅行したりします。タイに行こうかなと思っているなら、タイの一番暑い時期に一番楽しいお祭りを体験して見てはどうでしょうか。ただし、ぬれて困るものは持ち歩かない方がいいです

当時の人々はお正月の日に、国を守る神々が交代すると信じ、今まで守ってくれた神様に感謝を、これから守ってくれる神様に歓迎を表すため、お寺で参拝やお供えをしました。また、祖父母や両親に敬意を込めて両手に水を注ぎ、今までしてしまった失礼なことに対してのお許しをいただいて、お互いに健康と幸福を祈ります。



人でいっぱいになったオフィス街のシーロム通り(上)と
バックパッカーに人気のカオサン通り(下)が
バンコクの有名なソンクラーンスポット

現在、SNSを通してタイ人に香取市のことを発信していますが、香取市のみなさんにタイのことを発信できていないと感じました。学校や市民の方々との異文化交流、タイのことでも在日外国人としての意見交換やディスカッションなど、この月刊のようにお互いのことが少しでも知り合える機会ができればうれしいです！お手伝いできる企画などがあれば、ぜひ商工観光課までお声がけください。

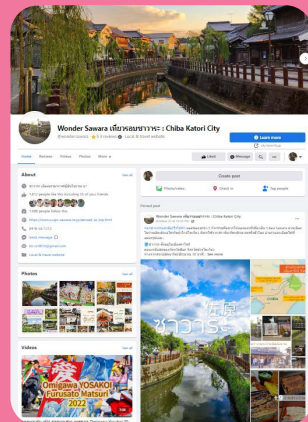
2023年桜の映像です～
(観福寺、荘厳寺前の展望台、両総用水、
小野川親水公園、小見川城山公園)



先月行われた「さわら雛舟春祭り」
の映像です



タイ人向けに香取市の情報をフェイスブックページ「Wonder Sawara เมืองสาทรจระจก : Chiba Katori City」にて発信しています。可能な限り日本語の文章も付けるようにするので、ぜひのぞいてみてください～(フォローをしていたただけたらうれしいです！)



FBページ →
QRコード



または、フェイスブックアプリ
で「Wonder Sawara」を検索

プロタイ ラタナウィモンチャイ チャヤンクン

タイ、バンコク出身。CHULALONGKORN大学教育学部美術科卒。ウェブデザイナーとして1年間勤めた後、語学のため2008年に初来日。日本語学校を経て専門学校のグラフィックデザイン科に進学。卒業後は帰国し、新潟県湯沢町や群馬県みなかみ町のタイ語版パンフレット作製の依頼を受け、両町がタイの旅行博に出展する際にも通訳としてお手伝いをしたことが日本観光に携わるきっかけとなった。2018年再来日し、タイ語版編集者としてインバウンドウェブメディア会社に入社。2021年9月からは香取市の国際交流員として勤めている。

